

# I 就業の状況

## 1 就業者の推移

平成30年の就業看護職員総数は、34,248人で、その内訳は、保健師992人、助産師468人、看護師23,012人、准看護師9,776人となっています。前回調査の平成28年から就業看護職員総数は、794人(就業総数比:2.3%)増加し、10年前の平成20年と比較すると、約1.18倍になっており、前回調査と比較すると、増加しています。また、就業保健師数、助産師数及び看護師数は、調査年毎に増加していますが、就業准看護師数は、平成14年をピークに減少傾向にあり、10,000人を下回っています(表1、図1)。

一方、平成30年の人口10万対就業看護職員数は、1,949.2人で全国平均1,275.7人と比較すると673.5人上回り、全国5位となっています(表1)。また、職種別内訳をみると、人口10万対就業保健師数56.5人(全国18位)、人口10万対就業看護師数1,309.7人(全国5位)、人口10万対就業准看護師数556.4人(全国2位)といずれも全国平均を上回りましたが、人口10万対就業助産師数は、26.6人(全国39位)で、全国平均を下回っています(表1)。

平成20年から公表している常勤換算による就業看護職員数は、平成30年は、31,996.4人で、前回調査から472.2人増加しています(表1)。

表1 就業看護職員数の推移

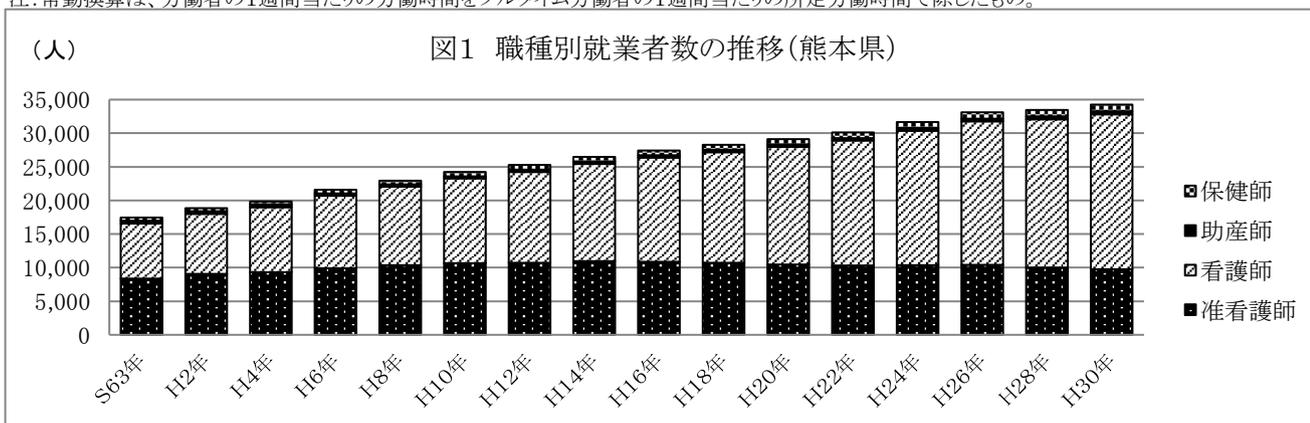
<単位:人>

調査年	職種		助産師	看護師		准看護師		合計		2年前からの増加数	常勤換算(注)
	保健師	男性再掲		男性再掲	男性再掲	男性再掲	男性再掲				
昭和63年	417		435	8,215	197	8,360	321	17,427	518		
平成2年	456		413	8,903	224	9,084	407	18,856	631	1,429	
平成4年	475		364	9,681	296	9,327	470	19,847	766	991	
平成6年	521		363	10,749	356	9,934	571	21,567	927	1,720	
平成8年	553	1	353	11,644	419	10,371	605	22,921	1,025	1,354	
平成10年	634		334	12,589	498	10,675	681	24,232	1,179	1,311	
平成12年	698	1	319	13,543	606	10,698	706	25,258	1,313	1,026	
平成14年	707		306	14,504	718	10,947	777	26,464	1,495	1,206	
平成16年	728		307	15,529	835	10,865	852	27,429	1,687	965	
平成18年	744	1	331	16,473	951	10,708	847	28,256	1,799	827	
平成20年	808	5	337	17,518	1,076	10,470	837	29,133	1,918	877	27,862.9
平成22年	831	9	379	18,609	1,221	10,295	876	30,114	2,106	981	28,721.9
平成24年	898	10	416	19,993	1,420	10,352	892	31,659	2,322	1,545	30,033.5
平成26年	910	8	441	21,333	1,559	10,413	920	33,097	2,487	1,438	31,301.1
平成28年	929	16	454	22,075	1,680	9,996	880	33,454	2,576	357	31,524.2
平成30年	992	23	468	23,012	1,858	9,776	897	34,248	2,778	794	31,996.4
割合		2.9%	1.3%		67.2%		28.5%		100.0%		
人口10万対(全国順位)		56.5(18位)	26.6(39位)		1,309.7(5位)		556.4(2位)		1,949.2(5位)		
(全国)平成30年		52,955	36,911		1,218,606		304,479		1,612,951		
割合		3.3%	2.3%		75.6%		18.9%		100.0%		
人口10万対		41.9	29.2		963.8		240.8		1,275.7		

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)、

県統計調査課「推計人口調査(年報)」(調査日:平成30年10月1日)

注:常勤換算は、労働者の1週間当たりの労働時間をフルタイム労働者の1週間当たりの所定労働時間で除したものである。



## 2 場所別就業状況

平成30年の就業場所別の就業看護職員の実人員数は、前回調査(平成28年)と同様、病院が20,489人(59.8%)と最も多く、次いで診療所6,394人(18.7%)、介護保険施設等3,978人(11.6%)となっています(表2)。

また、就業看護職員数の平成20年から平成30年までの10年間の増加率は、訪問看護ステーションが232%と最も高く、次いで社会福祉施設173%、介護保険施設等172%となっています(表3)。

表2 平成30年の職種別就業場所別就業数

<単位:人>

就業場所 職種	就業場所											
	病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計	
実人員	保健師	111	79	32	701	2	3	37	0	12	15	992
	助産師	277	124	0	12	0	0	0	32	22	1	468
	看護師	16,497	2,712	1,790	333	904	344	31	0	292	109	23,012
	准看護師	3,604	3,479	2,156	67	130	239	8	0	1	92	9,776
	総数	20,489	6,394	3,978	1,113	1,036	586	76	32	327	217	34,248
	割合(%)	59.8%	18.7%	11.6%	3.3%	3.0%	1.7%	0.2%	0.1%	1.0%	0.6%	100.0%
常勤換算	保健師	106.6	75.9	31.3	667.4	2.0	1.3	36.2	0.0	11.5	11.9	944.1
	助産師	266.8	115.9	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0	26.2	21.4	0.1	438.3
	看護師	15,950.7	2,357.6	1,576.4	256.0	788.4	300.4	26.1	0.0	280.2	89.7	21,625.5
	准看護師	3,434.4	3,161.0	1,936.4	47.1	111.1	205.8	7.1	0.0	1.0	84.6	8,988.5
	総数	19,758.5	5,710.4	3,544.1	978.4	901.5	507.5	69.4	26.2	314.1	186.3	31,996.4
	割合(%)	61.8%	17.8%	11.1%	3.1%	2.8%	1.6%	0.2%	0.1%	0.9%	0.6%	100.0%
全国	実人員総数	1,006,342	264,271	161,210	51,242	57,081	29,317	9,204	2,412	19,594	12,278	1,612,951
	割合(%)	62.4%	16.4%	10.0%	3.2%	3.5%	1.8%	0.6%	0.1%	1.2%	0.8%	100.0%

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:平成30年12月31日)

表3 就業場所別就業数の推移

<単位:人>

調査年	就業場所										
	病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
平成20年	18,159	6,426	2,311	930	446	338	55	30	274	164	29,133
男性再掲	1,547	163	180	4	8	9	1	0	2	4	1,918
平成22年	18,653	6,454	2,405	988	532	528	89	26	284	155	30,114
男性再掲	1,652	155	206	7	6	63	2	0	6	9	2,106
平成24年	19,381	6,394	2,954	1,036	571	649	213	28	311	122	31,659
男性再掲	1,817	141	249	9	13	71	6	0	11	5	2,322
平成26年	20,015	6,361	3,450	1,073	800	774	106	33	326	159	33,097
男性再掲	1,925	134	290	13	19	84	7	0	11	4	2,487
平成28年	20,120	6,317	3,698	1,081	901	768	66	32	326	145	33,454
男性再掲	1,993	136	286	14	43	87	1	0	13	7	2,580
平成30年	20,489	6,394	3,978	1,113	1,036	586	76	32	327	217	34,248
男性再掲	2,153	143	337	20	62	33	3	0	13	14	2,778
増加率(注)	113%	100%	172%	120%	232%	173%	138%	107%	119%	132%	118%

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

注:増加率は、平成30年就業数を平成20年就業数で除したものの。

### 3 職種別場所別年次別就業状況

#### (1) 保健師

平成30年の就業保健師総数は、992人で、平成18年の介護保険法改正による地域包括支援センターの創設、平成20年の特定健診、特定保健指導制度の導入、地域包括ケアシステム構築等に向けた取組みの推進などから、調査年毎に増加しています(表4)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所及び事業所の割合が低くなっています(図2)。

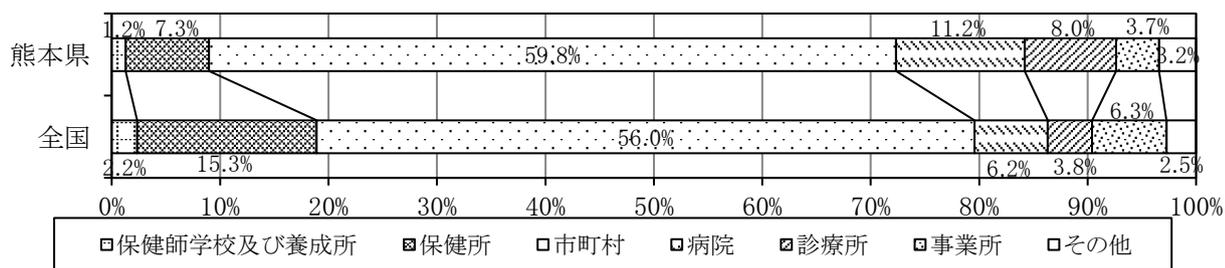
表4 就業場所別就業保健師数の推移

<単位:人>

調査年	就業場所	看護師等学校養成所	保健所	市町村	病院	診療所	事業所	介護保険施設等	訪問看護ステーション	社会福祉施設	その他	計
平成20年		15	76	514	48	70	31	4	2	3	45	808
平成22年		14	69	533	69	58	30	5	3	3	47	831
平成24年		22	67	555	80	61	81	7	2	5	18	898
平成26年		12	66	583	84	62	47	10	2	5	39	910
平成28年		12	66	553	108	76	29	43	2	3	37	929
平成30年		12	72	593	111	79	37	32	2	3	51	992
	常勤換算	11.5	64.2	569.4	106.6	75.9	36.2	31.3	2.0	1.3	11.9	910.3
(全国)平成30年		1,148	8,100	29,666	3,307	2,003	3,349	1,336	259	421	3,366	52,955

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図2 全国との就業場所別割合の比較(平成30年)



#### (2) 助産師

平成30年の就業助産師総数は、468人で、調査年毎に増加しており、就業場所別では、病院の就業数が平成20年以降調査年毎に増加しています(表5)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所、市町村及び病院の割合が低くなっています(図3)。

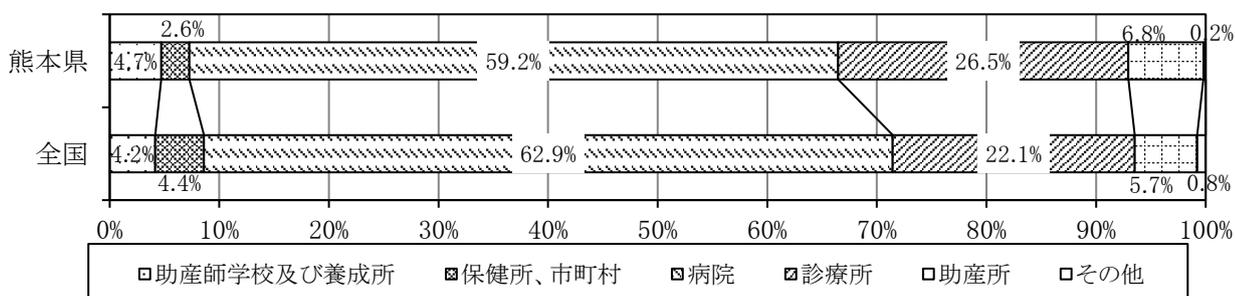
表5 就業場所別就業助産師数の推移

<単位:人>

調査年	就業場所	看護師等学校養成所	保健所市町村	病院	診療所	助産所	その他	計
平成20年		21	3	197	85	30	1	337
平成22年		17	7	224	105	26		379
平成24年		23	9	249	106	28	1	416
平成26年		28	10	257	111	33	2	441
平成28年		25	7	261	129	31	1	454
平成30年		22	12	277	124	32	1	468
	常勤換算	21.4	7.9	266.8	115.9	26.2	0.1	438.3
(全国)平成30年		1,533	1,641	23,199	8,148	2,103	287	36,911

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図3 全国との就業場所別割合の比較(平成30年)



### (3) 看護師

平成30年の就業看護師総数は、23,012人で、前回調査と比較すると、市町村、社会福祉施設を除く全ての就業場所で、就業数が増加しています(表6)。また、就業場所別割合は、全国と同様の傾向となっています(図4)。

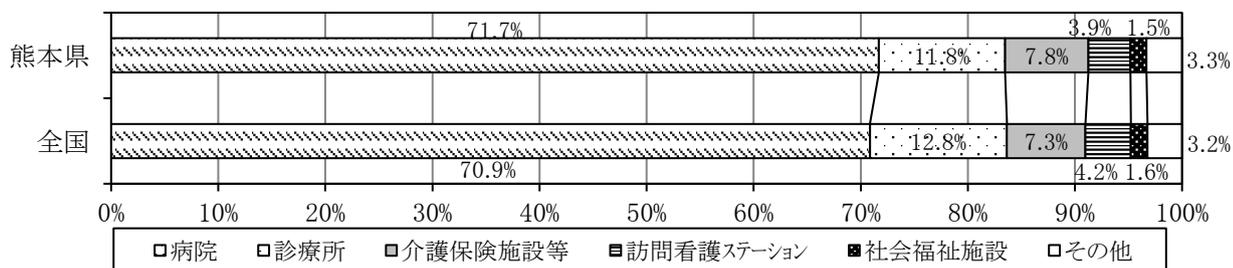
表6 就業場所別就業看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師 等学校 養成所	保健所	市町村	病院	診療所	介護保険 施設等	訪問看 護ステ ーション	社会福 祉施設	その他	計
平成20年	238	12	244	13,327	2,070	946	407	176	98	17,518
平成22年	253	23	267	13,947	2,249	980	466	306	118	18,609
平成24年	266	16	301	14,837	2,336	1,226	492	376	143	19,993
平成26年	285	12	311	15,599	2,421	1,459	698	432	116	21,333
平成28年	289	16	321	15,933	2,528	1,631	774	472	111	22,075
平成30年	292	17	310	16,497	2,712	1,790	904	344	146	23,012
常勤換算	280.2	12.4	239.2	15,950.7	2,357.6	1,576.4	788.4	300.4	120.2	21,625.5
(全国)平成30年	16,867	1,237	7,139	863,402	155,986	89,270	51,740	18,897	14,068	1,218,606

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図4 全国との就業場所別割合の比較(平成30年)



### (4) 准看護師

平成30年の就業准看護師総数は、9,776人で、病院及び診療所では、調査年毎に減少していますが、一方で、介護保険施設等や訪問看護ステーションの就業数は、調査年毎に増加しています(表7)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、病院及び介護保険施設等の割合が低くなっています(図5)。

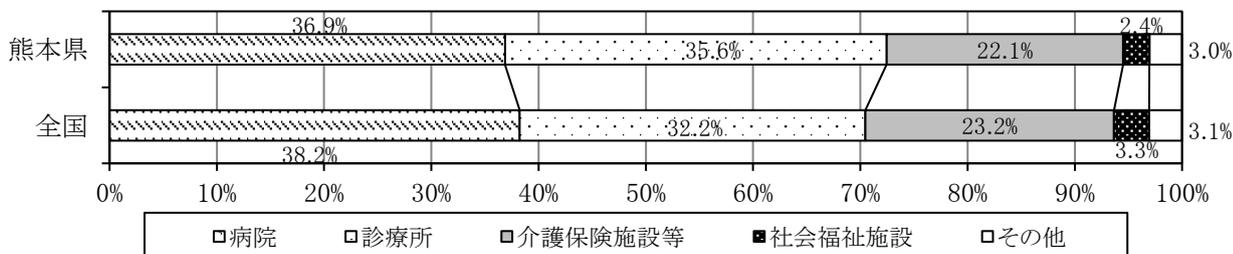
表7 就業場所別就業准看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	保健所	市町村	病院	診療所	介護保 険施 設 等	訪問看 護ステ ーション	社会福 祉施設	その他	計
平成20年	—	81	4,587	4,201	1,361	37	159	44	10,470
平成22年	1	88	4,413	4,042	1,420	63	219	49	10,295
平成24年	1	87	4,215	3,891	1,721	77	268	92	10,352
平成26年	—	91	4,075	3,767	1,981	99	337	63	10,413
平成28年	—	88	3,818	3,584	2,024	125	293	64	9,996
平成30年	—	66	3,604	3,479	2,156	130	239	102	9,776
常勤換算	—	46.3	3,434.4	3,161.0	1,936.4	111.1	205.8	93.5	8,988.5
(全国)平成30年	49	1,005	116,434	98,134	70,604	5,066	9,975	3,212	304,479

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図5 全国との就業場所別割合の比較(平成30年)



#### 4 年齢別職種別就業状況

平成30年の就業者総数の年齢区分別割合では、40歳代が26.7%で最も多く、次いで50歳代が24.6%を占めています。また、10年前の平成20年と比較すると、平成30年では、50～59歳(3.1ポイント増加)、60歳以上(8.7ポイント増加)で就業割合が増加しています(表8、図6)。

さらに、職種別の年齢構成の特徴は、就業保健師数が30～34歳、55～59歳をピークとするM字カーブ、就業助産師数は、35～39歳が最も多く、就業看護師数は、40～44歳をピークとする山型の傾向、就業准看護師数は、55～59歳が最も多くなっています(図7、図8)。

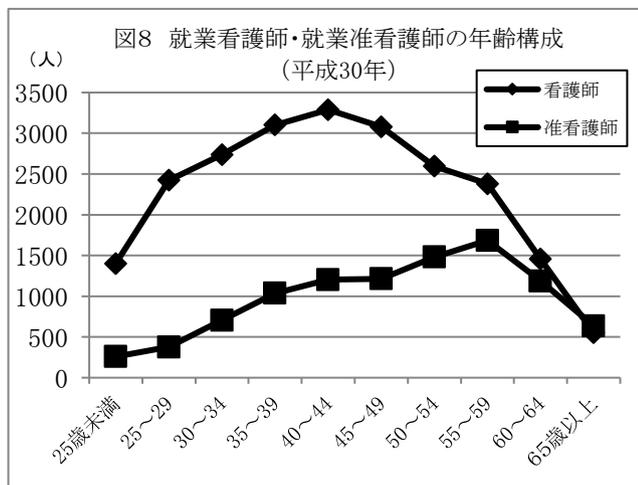
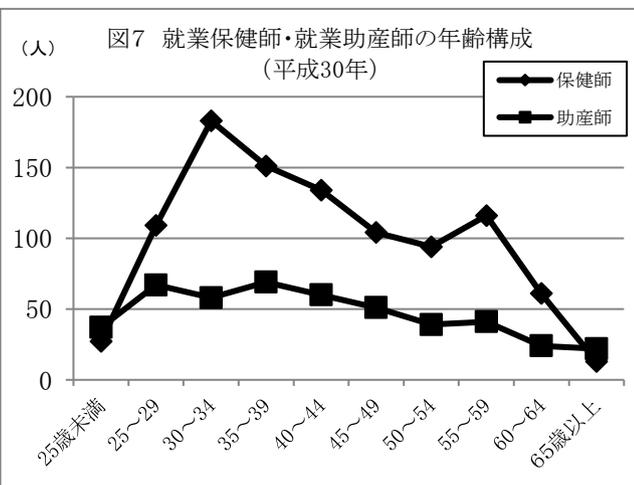
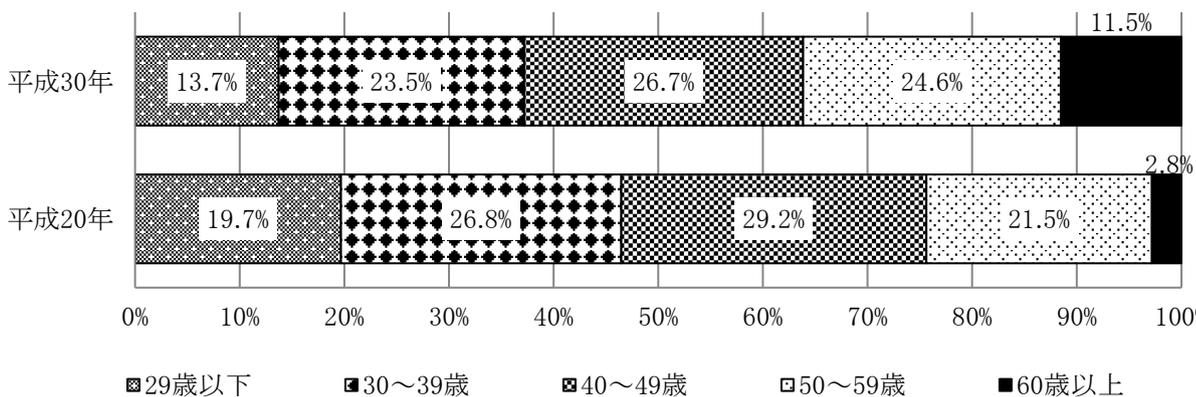
表8 年齢区分別職種別就業数

<単位:人>

職種 年齢区分	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
25歳未満	27	2.8%	37	8.0%	1,400	6.1%	259	2.6%	1,723	5.0%
25～29	109	11.0%	67	14.3%	2,424	10.5%	376	3.8%	2,976	8.7%
30～34	183	18.4%	58	12.4%	2,737	11.9%	705	7.2%	3,683	10.8%
35～39	151	15.2%	69	14.7%	3,102	13.5%	1,035	10.7%	4,357	12.7%
40～44	134	13.5%	60	12.8%	3,289	14.1%	1,203	12.3%	4,686	13.7%
45～49	104	10.5%	51	10.9%	3,079	13.4%	1,212	12.4%	4,446	13.0%
50～54	94	9.5%	39	8.3%	2,595	11.3%	1,480	15.1%	4,208	12.3%
55～59	116	11.7%	41	8.8%	2,380	10.3%	1,685	17.2%	4,222	12.3%
60～64	61	6.1%	24	5.1%	1,456	6.3%	1,186	12.1%	2,727	8.0%
65～69	12	1.2%	16	3.4%	450	2.1%	500	5.1%	978	2.8%
70～74	1	0.1%	4	0.9%	74	0.4%	116	1.2%	195	0.6%
75歳以上	0	0.0%	2	0.4%	26	0.1%	19	0.3%	47	0.1%
計	992	100.0%	468	100.0%	23,012	100.0%	9,776	100.0%	34,248	100.0%

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:平成30年12月31日)

図6 平成20年と平成30年の就業看護職員の年齢構成の比較



## 5 保健所管轄別職種別就業状況

平成30年の保健所管轄別就業看護職員総数が最も多いのは、熊本市の16,150人(47.2%)で、次いで、菊池2,819人(8.2%)、八代2,687人(7.8%)の順となっています。一方、保健所管轄別就業看護職員総数が最も少ないのは、阿蘇の857人(2.5%)、次いで山鹿963人(2.8%)となっています(表9)。

また、平成28年熊本地震で影響を受けた阿蘇、御船、宇城の就業看護職員数は、いずれも前回調査から増加に転じています。

表9 平成30年の保健所管轄別就業場所別職種別就業数

<単位:人>

保健所		有明	山鹿	菊池	阿蘇	御船	宇城	八代	水俣	人吉	天草	熊本市	計
就業場所													
保健師	病院	3	3	10	0	0	2	8	1	4	10	70	111
	診療所	3	0	6	0	0	1	0	0	0	3	66	79
	訪問看護ステーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	介護保険施設等	0	0	1	1	1	3	1	0	3	3	19	32
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	県又は市町村	83	28	61	46	53	41	52	26	60	61	190	701
	事業所	2	1	7	0	1	0	0	0	0	0	26	37
	看護師等学校・養成所	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	12
	その他	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	11	15
	計	95	32	85	48	56	47	61	27	67	79	395	992
助産師	病院	2	7	0	8	0	0	13	6	6	12	223	277
	診療所	15	0	25	0	1	26	4	2	5	5	41	124
	助産所	0	1	4	0	0	1	2	0	0	0	24	32
	県又は市町村	2	0	1	0	0	0	2	0	1	0	6	12
	看護師等学校・養成所	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	22
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	24	8	30	8	1	27	21	8	12	17	312	468	
看護師	病院	1,065	387	1,520	293	374	682	1,111	604	614	1,029	8,818	16,497
	診療所	279	51	233	42	71	142	167	86	51	170	1,420	2,712
	助産所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問看護ステーション	82	12	86	16	71	34	86	28	29	48	412	904
	介護保険施設等	173	68	117	73	98	92	133	73	85	123	755	1,790
	社会福祉施設	16	15	49	9	23	14	27	15	16	39	121	344
	県又は市町村	37	13	25	4	25	5	16	9	24	28	147	333
	事業所	3	0	10	0	1	0	0	2	1	0	14	31
	看護師等学校・養成所	46	5	4	0	0	8	25	2	5	26	171	292
	その他	2	2	11	2	5	13	10	0	5	0	59	109
計	1,703	553	2,055	439	668	990	1,575	819	830	1,463	11,917	23,012	
准看護師	病院	235	120	230	141	218	197	280	144	308	315	1,416	3,604
	診療所	319	150	254	90	134	265	387	119	263	243	1,255	3,479
	訪問看護ステーション	2	0	11	3	9	2	39	5	14	4	41	130
	介護保険施設等	161	81	119	112	151	123	273	82	178	191	685	2,156
	社会福祉施設	20	12	21	12	12	7	26	8	25	18	78	239
	県又は市町村	13	1	2	2	4	2	5	3	9	12	14	67
	事業所	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	3	8
	看護師等学校・養成所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	2	6	10	1	9	1	20	0	9	0	34	92
	計	753	370	649	362	537	597	1,030	363	806	783	3,526	9,776
合計	2,575	963	2,819	857	1,262	1,661	2,687	1,217	1,715	2,342	16,150	34,248	
割合	7.5%	2.8%	8.2%	2.5%	3.7%	4.8%	7.8%	3.6%	5.1%	6.8%	47.2%	100.0%	
平成28年合計	2,522	952	2,842	813	1,174	1,602	2,401	1,218	1,642	2,375	15,913	33,454	
平成28年との比較(注)	53	11	▲23	44	88	59	286	▲1	73	▲33	237	794	

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:平成30年12月31日)

注:平成28年との比較は、平成30年合計を平成28年合計で減じたもの。

## 6 病院病床100床当たりの保健所管轄別就業看護職員数

平成30年の病院病床100床当たり就業看護職員数は、熊本県は平均59.3人で、全国の65.1人を5.8人下回っています。保健所管轄別では、熊本市の68.0人が最も高く、阿蘇の45.5人が最も低くなっています(表10)。

また、病院病床100床当たりの就業看護職員数が前回調査より減少しているのは、菊池、宇城となっています(図9)。

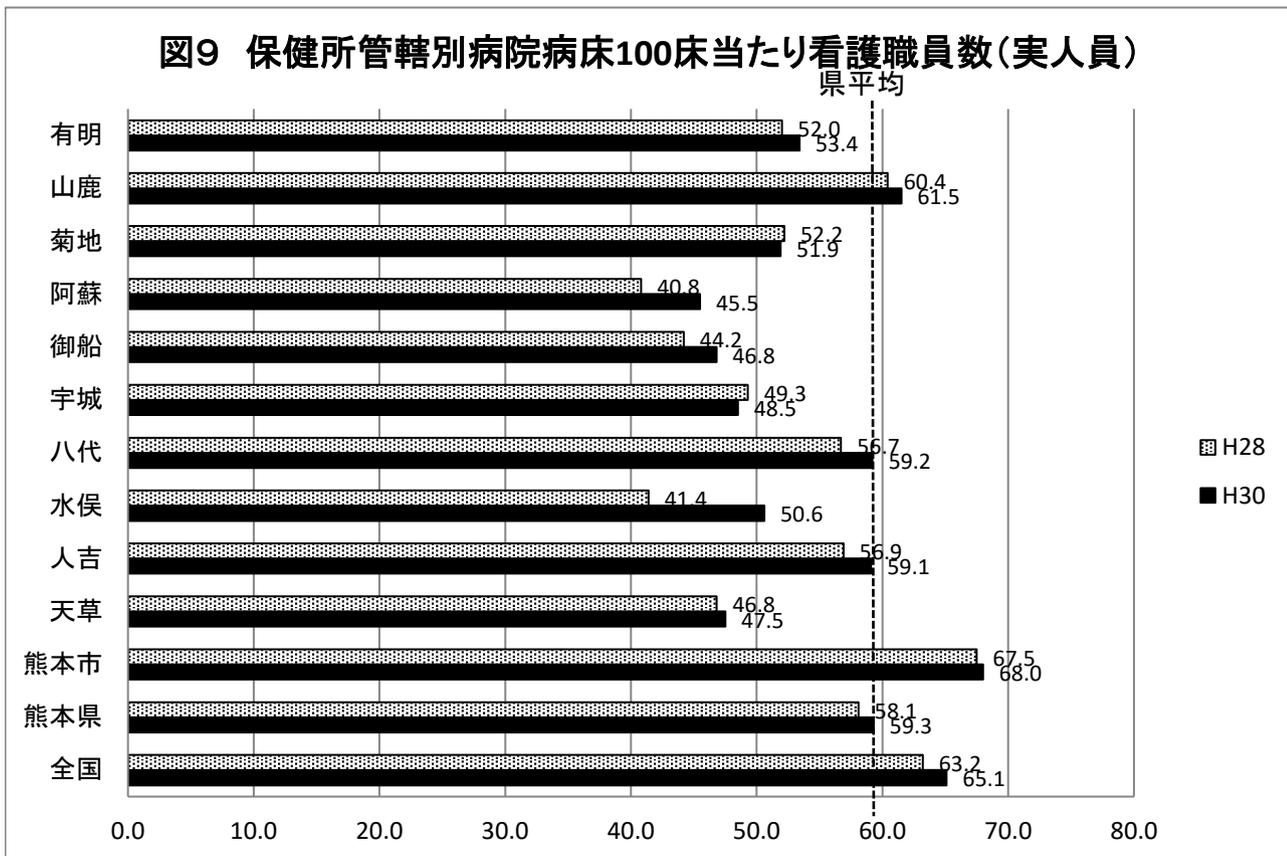
表10 病院病床100床当たり保健所管轄別職種別就業看護職員数(注1)

<単位:人>

圏域	職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	病院病床数(総数) (平成30.4.1)
有明		0.1	0.1	43.6	9.6	53.4	2,444
山鹿		0.4	0.8	46.1	14.3	61.5	840
菊池		0.3	0.0	44.8	6.8	51.9	3,391
阿蘇		0.0	0.8	30.2	14.5	45.5	971
御船		0.0	0.0	29.6	17.2	46.8	1,264
宇城		0.1	0.0	37.6	10.8	48.5	1,816
八代		0.3	0.5	46.6	11.7	59.2	2,384
水俣		0.1	0.4	40.5	9.6	50.6	1,493
人吉		0.3	0.4	38.9	19.5	59.1	1,578
天草		0.3	0.4	35.8	10.9	47.5	2,878
熊本市		0.5	1.4	57.0	9.1	68.0	15,481
熊本県		0.3	0.8	47.8	10.4	59.3	34,540
	常勤換算	0.3	0.8	46.2	9.9	57.2	
全国		0.2	1.5	55.8	7.5	65.1	
	常勤換算	0.2	1.4	53.7	7.0	62.4	1,546,554

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:平成30年12月31日)、平成30年医療施設調査(調査日:平成30年10月1日)

注1:病院病床100床当たり保健所管轄別職種別就業看護職員数は、病院で働く看護職員数を病院病床数で除し、100を乗じたもの。



## 7 専門性の高い看護職員の状況

専門看護師等の専門性の高い看護職員の人数は、毎年増加しており、平成30年12月末現在で、専門看護師20人、認定看護師315人、認定看護管理者66人、特定行為研修修了者は11人となっています(表11、図10)。また、専門看護師(注1)は、菊池、熊本市のみ、認定看護師(注2)は、熊本市、有明、認定看護管理者(注3)は、熊本市、菊池、特定行為研修修了者(注4)は熊本市、八代、人吉で多く就業しています(表12)。分野別では、感染管理、緩和ケアが多いという現状です(図11)。

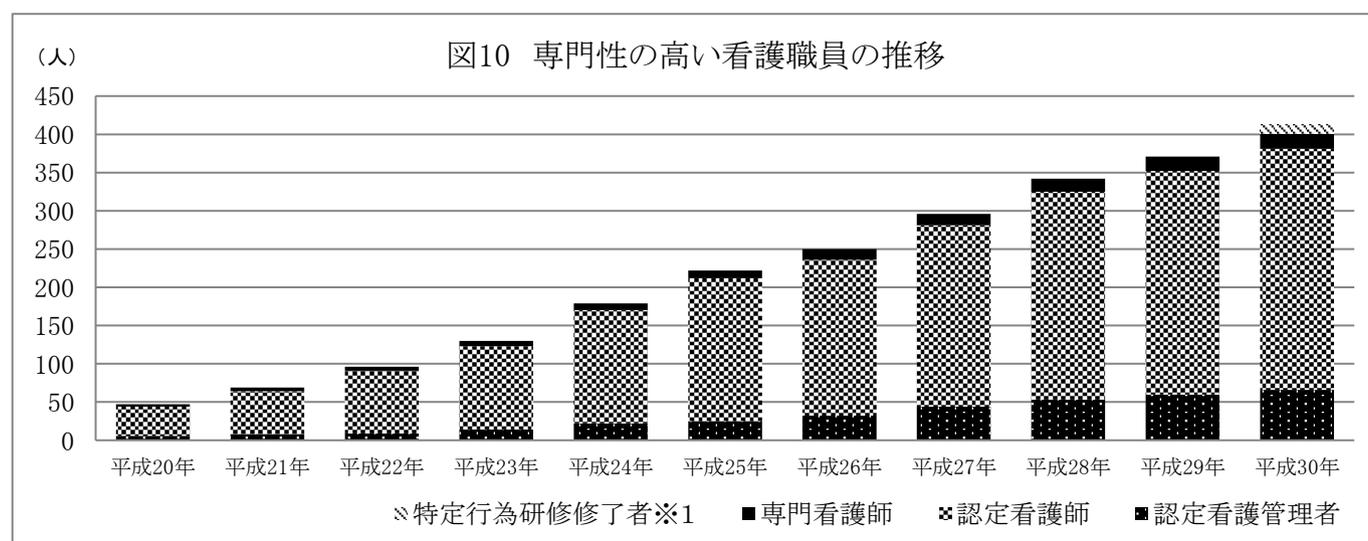
表11 専門性の高い看護職員の推移

<単位:人>

調査年	専門看護師	認定看護師	認定看護管理者	特定行為研修修了者※1
平成20年	3	38	6	-
平成21年	5	56	8	-
平成22年	5	82	9	-
平成23年	7	109	14	-
平成24年	9	148	22	-
平成25年	10	187	25	-
平成26年	14	204	32	-
平成27年	15	237	44	-
平成28年	17	272	53	-
平成29年	19	292	60	-
平成30年	20	315	66	11

※出典:日本看護協会、日本精神科看護協会(調査日:調査年の12月31日)

※1:熊本県健康福祉部医療政策課調べ(調査日:平成30年12月31日)



注1: 専門看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、公益社団法人日本看護協会の専門看護師認定審査(がん看護等13分野)に合格することで取得できる資格。

注2: 認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査(救急看護等21分野)に合格することで取得できる資格。

注3: 認定看護管理者とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める510時間の認定看護管理者教育を修め、公益社団法人日本看護協会の認定審査に合格することで取得できる資格。

注4: 特定行為研修修了者とは、特定行為(診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもの)の研修を修了した看護師のことである。

表12 保健所管轄別専門性の高い看護職員数

<単位:人>

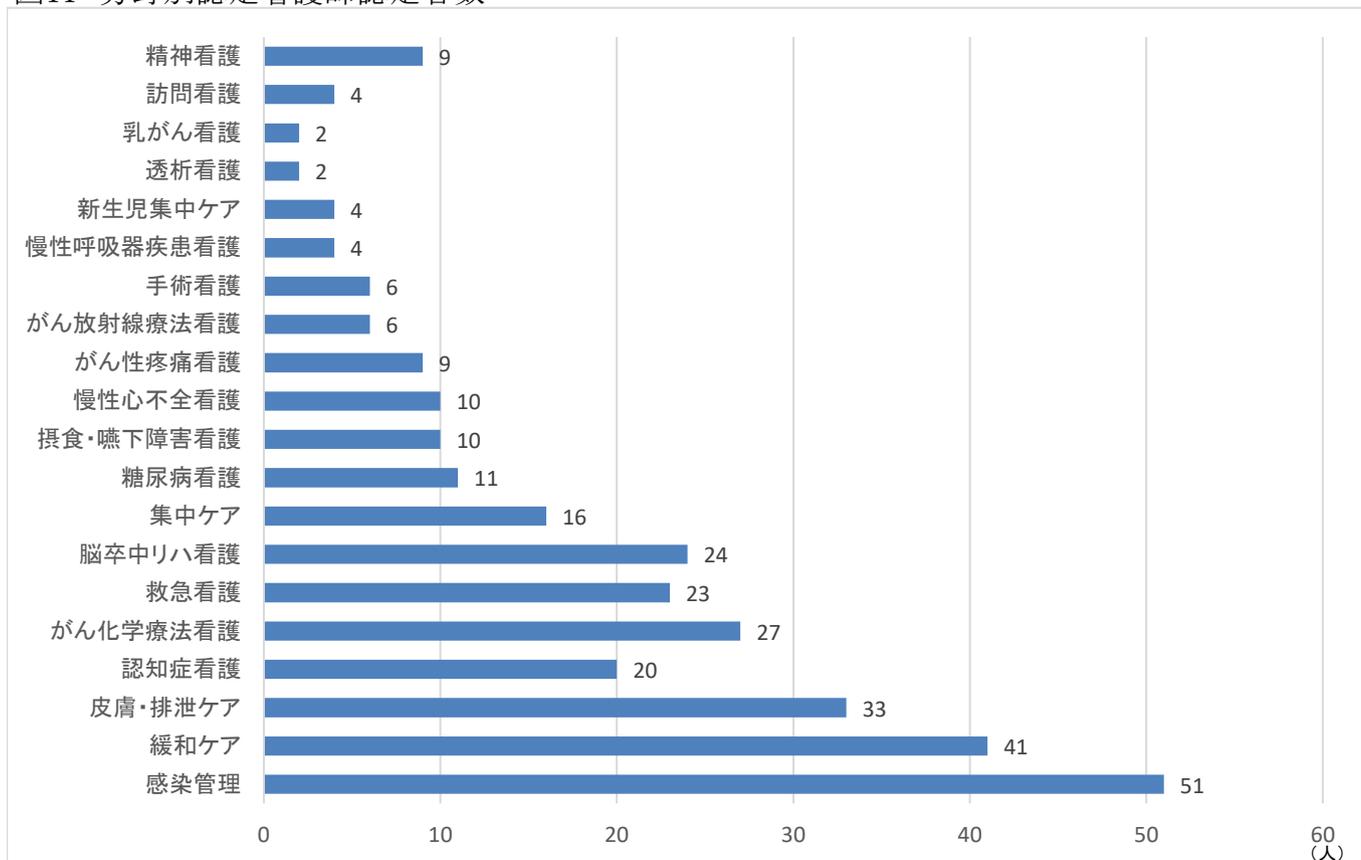
保健所	専門看護師	認定看護師	認定看護管理者	特定行為研修 修了者
有明	0	21	2	-
山鹿	0	8	5	-
菊地	2	16	8	1
阿蘇	0	3	2	-
御船	0	1	1	-
宇城	0	19	2	-
八代	0	20	3	2
水俣	0	8	1	1
人吉	0	20	2	2
天草	0	14	2	-
熊本市	17	163	41	5
不明	0	6	5	-
熊本県	19※1	299※1	74※1	11※1
全国	2,242※2	21,048※2	4,157※2	1,685※2

※出典:日本看護協会、日本精神科看護協会、日本看護協会「分野別都道府県別登録者検索」(調査日:令和元年12月10日)、熊本県健康福祉部医療政策課調べ(調査日:平成30年12月31日)、厚生労働省第23回看護師特定行為・研修部会 参考資料6(調査日:平成31年3月)

※1:専門看護師、認定看護師、認定看護管理者は、登録されている方で公表の承諾を得た方のみ的人数である。なお、熊本県内の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者数は、令和元年12月10日時点の人数、特定行為研修修了者数は、平成30年12月31日時点の人数である。

※2:全国の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者数は、令和元年12月10日時点の人数、特定行為研修修了者数は、平成31年3月31日時点の人数である。

図11 分野別認定看護師認定者数



※出典:日本看護協会(調査日:平成30年12月31日)